**７．本時の学習：「薬物乱用と健康」**

(1)　本時のねらい

・コカイン、MDMAなどの麻薬、覚せい剤、大麻など、薬物の乱用は心身の健康、社会の安全などに対して深刻な影響を及ぼすことから決して行ってはならないこと、危険ドラッグの問題、薬物乱用を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観や規範意識の育成などの個人への働きかけ、及び法的な規則や行政的な対応など社会環境への対策が必要であることについて、理解できる。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　【知識】

(2)　展開（３/４時間）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 段階 | 学習内容・活動 | 教師の指導・支援と評価 |
| はじめ | １　中学校までの学習を振り返る。  ・薬物乱用について例をあげ、正しいものはどれか考えさせる。（選択肢）  ・法律で禁止されている薬物以外は使用しても薬物乱用にはならない  ・市販薬は決められた用法を守らずに使用すると薬物乱用になることがある  ・薬物乱用について確認する。  　（ワークシートに記入） | ・中学校までの既習事項を振り返りながら考えさせる。  ・どちらが正しいか挙手させる。  　（どちらも薬物乱用）  ・なぜそう思うのか数名に理由を発表させ、板書する。  ・生徒の意見を用いて薬物乱用について確認する。 |
| なか | めあて『薬物乱用の危険性を理解し、個人や社会環境への対策を考えよう』  ２　薬物乱用の危険性と社会影響について理解する。  ・乱用薬物の健康への影響と薬物乱用が引き起こす社会問題について理解する。  　（ワークシートに記入）  ３　薬物乱用の開始要因についてグループで話し合う。  発問：薬物の乱用はいけないことだとわかっていても使用してしまうのはなぜだろう？  予想される意見  ・友達や先輩に誘われて断れない  ・好奇心  ・害について理解していないから  ４　薬物乱用防止について考える。  発問：薬物乱用を防止するために必要なことは何だろう？  ・薬物乱用防止のための対策を考え、グループで意見交換をする。  （ワークシートに記入）  予想される意見  ・法律の整備をする  ・密輸の取り締まりを厳しくする  ・薬物乱用の危険性を広める  ５　グループで出た意見を発表し、全体で共有する。 | ・おもな乱用薬物とその健康影響について説明し、1回の乱用で命を失うこともあることを伝える。  ・社会問題について具体的に調べる。（学習用PC）  ◆【知識・技能③】　《観察・ワークシート》  ・グループをつくり、思いついた意見を自由に　発言させる。  ・いくつかのグループに意見を発表させる。  ・開始要因について説明する。  ・薬物乱用は身近に起こりうる問題であることを  意識させる。  ・話合いが進まないグループには、他のグループの意見を参考にするよう助言する。  ・グループで出た意見を個人への対策と社会環境への対策に分類させる。  ・他のグループの意見を聞き、気付いたことがあればワークシートにメモを取らせる。  ・薬物乱用の防止のために、正しい知識の普及や規範意識の育成が重要であることを説明する。 |
| まとめ | ６　本時のまとめをする。  ・教師の説明を聞く。  ・ワークシートに今日の授業で理解したことを書く。 | ・薬物の乱用は、決して行ってはならないことを意識させ、薬物乱用経験者を孤立させない社会づくりも必要であることを説明する。 |

薬物乱用と健康

１年　　組　　号　名前

**１．薬物乱用について知ろう！**

　〇薬物乱用とは

（　違法薬物　）の使用や医薬品を（　　本来の目的　　）から外れて使用すること。

　〇健康への影響

　・（　脳　）に直接働きかけて一時的に強い快感をもたらし、本来の（　　自分らしさ　　）

を失わせる危険性がある。

　・（　１回の乱用　）で呼吸困難やけいれんを引き起こし、（　死亡　）することもある。

　・強い（　依存性　）をもつ。

　〇薬物乱用が引き起こす社会問題についてまとめよう

**２．なぜ薬物乱用をしてしまうのだろう？**

**３．薬物乱用防止のための対策を考え、個人への対策と社会環境への対策に分類してみよう。**

**４．今回の授業で理解したことをまとめよう**。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 個人への対策 | 社会環境への対策 |
| あなたの考え |  |  |
| グル❘プ |  |  |

**７．本時の学習：「安全な社会の形成」**

(1)　本時のねらい

・事故や災害が発生した場合、状況に応じた自分や家族の命を守るための行動や周囲の人々と協力して助け合う行動の仕方を選び、それを他者に説明できる。 【思考力、判断力、表現力等】

・安全な社会生活について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組むことができる。

【学びに向かう力、人間性等】

(2)　展開（３/４時間）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 段階 | 学習内容・活動 | 教師の指導・支援と評価 |
| はじめ | １　前時までの学習を振り返る。  ２　過去に発生した豪雨災害において、被害が拡大した原因を考える。  予想される意見  ・こんなことになると思わなかった  ・自分は大丈夫だと思っている  めあて『適切に危険を回避するために時間の流れにそった防災・避難計画をつくろう』 | ・安全な社会の形成における既習事項を質問しながら学習した内容を振り返らせる。  ・思いついた意見を自由に発言させる。  ・生徒の意見を板書し、その中から実践できそうなことはないか考えさせる。  ・事故や災害が発生した場合、正しい情報を整理し、迅速な避難行動をとることが重要であることに気付かせる。  ・正常性バイアスについて説明する。 |
| な　　か | ３　自分が住んでいる地域について考える。  ・災害（水害）の対策について調べ、ワークシートにまとめる。  ４　調べたことをもとに、今後災害が起きたときに必要なことを考える。  発問：今後、災害（水害）が起きたときに何が必要か、考えてみよう。  ・４つのタイミングに分け、それぞれの段階で必要になるものを考え、ワークシートにまとめる。  　４つのタイミング（例：水害）  ① 平常時  ② 水害の可能性があるとき  ③ 水害の危険が迫ったとき  ④ 避難がすでに危険なとき    ５　グループごとに発表する。  ・話し合った内容を発表し、全体で共有する。  ６　佐賀県でさらにどのような対策がとれるか考える。  　・調べたことや話し合った内容をもとにワークシートにまとめる。  　・グループ内で意見交換する。 | 発問：佐賀県で実際に行われている災害（水害）の対策を調べてみよう。  ・佐賀県で過去に起きた災害（水害）について触れ、いつ起きても冷静に行動することができるよう、対策しておくことが重要であることを理解させる。  ・実際に体験したことなどをもとに準備しておくべきことを考えるよう助言する。  ・地図やハザードマップなどを参考に、自分の住んでいる地域の地形や特徴について参考にしながら考えさせる。  ◆【思考・判断・表現②】《観察・ワークシート》  ・グループでまとめた意見を黒板に板書（電子黒板に投影）させる。  ・各グループの発表を意識させ、共感させるような声かけをする。  ・災害発生時は、自分の安全を確保することはもちろん、周囲の人々の安全を守ることも大切だということを意識させる。  ◆【態度①】　《観察》 |
| まとめ | ７　本時のまとめをする。  ・教師の説明を聞く。  ・ワークシートに今日の授業で理解したことを書く。 | ・予期せぬ事態に陥った時に落ち着いて行動することの大切さを伝える。  ・防災教育動画を視聴し、避難行動について確認をする。 |

　　※本時の実践例は、事前に水害の被害経験を確認したり、保護者に伝えたりすることを前提とした授業になります。

安全な社会の形成

～防災・避難計画をつくろう～

１年　　組　　号　名前

１．佐賀県で実際に行われている安全対策について調べてみよう。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 災害の種類 | 内容 | 場所 |
|  |  |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 自分の考え | ①平常時 | ②水害の可能性があるとき |
| グル❘プ |  |  |
| 自分の考え | ③水害の危険が迫ったとき | ④避難がすでに危険なとき |
| グル❘プ |  |  |

２．今後、災害が起きたとき以下のタイミングで何が必要か、考えてみよう！（例：水害）

３．佐賀県では、さらにどのような対策がとれるか、考えてみよう！

４．まとめ

　　災害が起きたときに自分や家族の命を守るためには…？

**７．本時の学習：「結婚生活と健康①」**

(1)　本時のねらい

・受精・妊娠・出産の流れを復習し、それらには生活習慣や年齢などの関わりがあること、周囲のサポートが重要であることについて理解できる。　　　　　　　　　　　【知識】

(2)　展開（３/５時間）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 段階 | 学習内容・活動 | 教師の指導・支援と評価 |
| はじめ | １　中学校までの学習を振り返る。  受精・妊娠・出産の流れについて振り返る。【動画視聴】  めあて『妊娠・出産にともなう健康課題や周囲のサポートの重要性について知ろう』 | ・【射精→受精→着床→出産】の動画を見せる。  ・本時のめあてを確認する。 |
| なか | ２　妊娠・出産にともなう健康課題について考え、発表する。《ワークシートに記入》  《予想される意見》  　・つわり・流産・高齢出産  ・産後うつ　など  ３　なぜそのような課題があるのか考える。→説明を聞く。  ４　出産・育児にともなう健康課題を起こさないためにそれぞれの立場でできること(望むこと)を考える。  【母親(妊婦)・パートナー・家族】  　《ワークシートに記入》  ５　グループ内で出た意見を発表し、共有する。  《予想される意見》  　・母親(妊婦)→食事に気を配る。  走らない。一人で抱え込まない。  　・パートナー→家事を分担。相手の話を聞く。出産後のサポート。  　・家族→産婦人科への付き添い。出産後のサポート。  　・グループの意見をまとめる。  　・代表者がグループの意見を板書する。  　・他のグループの意見を共有し、ワークシートに記入する。 | ・思いついた意見を自由に発言させる。  ・生徒からの意見を板書する。  ・生徒からの意見を確認し、原因を考えさせる。  ・必要であれば説明する。  　例）つわり→妊娠による身体の急激な変化に対  応できない。個人差がある。  　例）高齢出産→晩婚化により増加傾向。母子ともに様々なリスクが上がる。  　例）産後うつ→産後１カ月以降に現れるうつ状  態。ホルモンの乱れやストレス  によるもの。  ・健康課題には、生活習慣や健康が関係している  ことを理解させる。  ・グループに分かれ個人で予想した後グループ内で共有するよう指示する。  ・自身の意見が出にくい場合はグループ内で教えあうよう促す。  ◆【知識・技能③】《観察・ワークシート１．２》  ・グループ内での意見をまとめるよう促す。  ・代表者は、意見を板書するよう声をかける。  ・生徒からの意見を確認し、共有させる。  ・他のグループの意見を聞いて、新たな意見はメモを取るように声かけをする。 |
| まとめ | ６　本時のまとめをする。  ・教師の説明を聞く。  ・ワークシートに今日の授業で理解したことを書く。  ・次時の予定を聞く。 | ・妊娠・出産は母親(妊婦)だけの課題ではないことを説明する。  ・次回は、家族計画・人工妊娠中絶について学習することを伝える。 |

【結婚生活と健康①】

２年（　　　　）組（　　　　）号　氏名（　　　　　　　　　　　　　　）

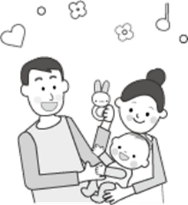
1. **妊娠・出産にともなう健康課題にはどのようなものがあるか？**

|  |  |
| --- | --- |
| **健康問題** | **なぜ？** |
|  |  |
| **新たな意見（他のグループ）** | |
|  |  |

1. **出産・育児にともなう健康課題についてそれぞれの立場でできる**

**こと(望むこと)を考えてみよう**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **母親（妊婦）** | **パートナー** | **家族（両親・兄弟姉妹）** |
|  |  |  |
| **新たな意見（他のグループ）** | | |
|  |  |  |

****

1. **本時のまとめ**

**本時の授業での印象に残ったワードを書きましょう**

**本時の授業の感想・質問を書きましょう**

**７．本時の学習：「食品衛生に関わる活動①」**

(1)　本時のねらい

・食品の安全性を確保するための法律や生産から流通までの各段階での適切な管理が重要であることを理解できる。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　【知識】

・食品の製造・加工の段階での危険性を予測し、自身の意見に筋道を立てて伝えることができる。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　【思考力・判断力・表現力等】

(2)　展開（３/４時間）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 段階 | 学習内容・活動 | 教師の指導・支援と評価 |
| はじめ | １　前時までの学習を振り返る。  ・賞味期限、消費期限、食品添加物など  食品の安全性のために必要なことを振り返る。  ２　食品の安全性を守るための行政の働きには、どういったものがあるか考える。  【予想される意見】  法律をつくる・検査する・監視する | ・食品の安全性のために必要な事項を質問しながら、学習した内容を振り返らせる。  ・思いついた意見を自由に発言させる。  ・生徒からの意見を板書する。  ・本時のめあてを確認させる。  めあて『食品の安全確保・衛生管理のための法律、対策を知ろう』 |
| なか | ３　食品の製造・加工の段階で適応される  法律を理解する。《ワークシートに記入》  【食品安全基本法】【食品衛生法】  【食品安全委員会】【食品衛生監視員】  ４　衛生管理方法の１つである「HACCP」について確認する。《ワークシートに記入》  【危害分析重要管理点】    ５　【動画視聴】  グループに分かれ、動画を参考に食品の製造・加工の段階で起こる可能性のある危険を予想する。  【予想される意見】  　　異物混入・食中毒・つまみぐい  　・グループの意見をまとめる。  ６　代表者がグループの意見を発表する。  　・他のグループの意見を共有し、ワーク  シートに記入する。 | ・食品に関する法律について説明し、どの場面でどのような役割をしているのか伝える。  ・HACCPについて説明する。  ◆【知識・技能②】　《観察・ワークシート１．２》  ・食品製造・加工の工程の動画を見せる。  ・グループを作り、個人で予想した後グループ内で共有するよう指示する。  ・自身の意見が出にくい場合はグループ内で教え合うよう促す。  ・他のグループの意見を聞いて、新たな意見はメモを取るように声かけをする。  ◆【思考・判断・表現②】《ワークシート３》  ・食品の製造・加工の段階で起こる危険性について理解させ、それらを防止するために法律・対策がとられていることを説明する。 |
| まとめ | ７　本時のまとめをする。  ・教師の説明を聞く。  ・ワークシートに今日の授業で理解した  こと、感想を書く。  ・次時の予定を聞く。 | ・日頃、口にしている食品の安全が守られているのは法律が施行されたことが大きく影響していることを説明する。  ・次回は、食品と健康のまとめに入ることを伝える。 |

【食品衛生に関わる活動①】

２年（　　　　）組（　　　　）号　氏名（　　　　　　　　　　　　　　）

1. **食品の安全性を守るための法律**

|  |
| --- |
| ※法律名【　食品安全基本法　】【　食品衛生法　】 |
| 【食品安全委員会】（　内閣府　）に設置。健康への影響を（　公平な立場で科学的・客観的　）に評価する役割。  【食品衛生監視員】（　保健所　）で食品工場や飲食店において（ 監視・指導 ）を行う。（　検疫所　）にも配置されている。 |

1. **HACCPとは？**

**【　危害分析重要管理点　】**

食品の製造・加工の工程で発生するポイントを決め、対策がきちんと

行われているかを常時監視する方法

1. **食品の製造・加工の段階で起こりうる危険を予測してみよう！**

|  |  |
| --- | --- |
| **個　人** |  |
| **グループ** |  |
| **新たな意見**  **（他のグループ）** |  |

1. **本時のまとめ**

**本時の授業で印象に残ったワードを書きましょう**

**本時の授業の感想・質問を書きましょう**

****